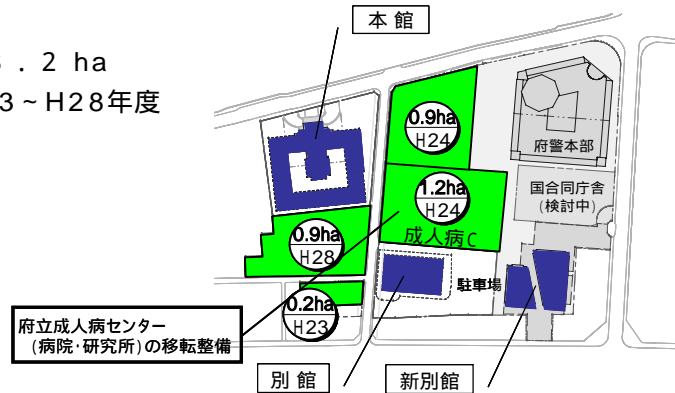


大手前のまちづくりについて（素案概要）

大手前のまちづくりの前提

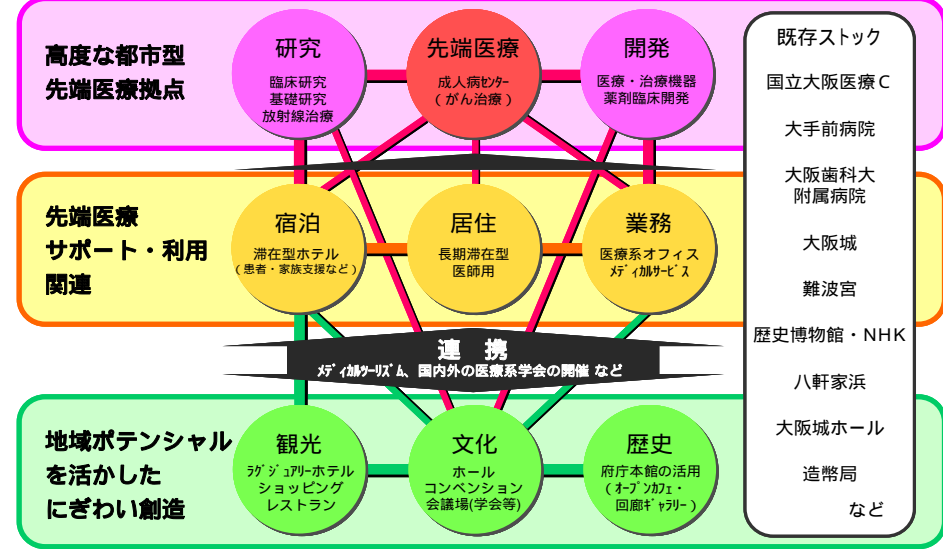
活用面積：約 3.2 ha

活用時期：H23～H28年度



導入すべき機能と施設例

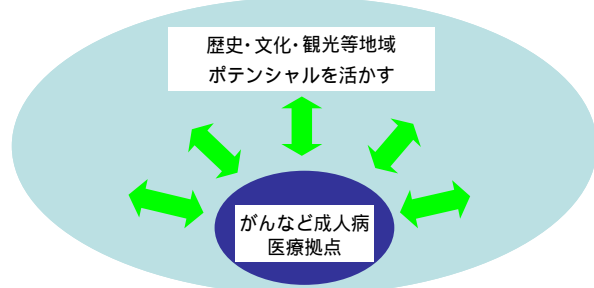
都市型先端医療拠点を核としてアジアをはじめとする国内外から人が集う



コンセプトイメージ

地域ポテンシャルを活かした高度な先進医療のまちづくり

～大阪城周辺地域活性化のリーディングプロジェクトとして～



大阪城、大手門や多くの緑などからなる眺望に配慮

- ・がんをはじめ成人病に関する「先端医療拠点」
- ・緑豊かな環境の中でくらし、安心して高度医療や介護サービスなどを受けられるホスピタリティの高い「医療を中心に健康・安心のくらしを支援するまち」
- ・関西国際空港へのアクセスを活かし、がん治療等の先端医療施設の充実により先端医療をうけながら大阪を楽しめる「歴史、文化、恵まれた自然環境などを付加価値に、先端医療を中心とした医療と観光のまち」
- ・歴史・文化・観光等の地域ポテンシャルを活かした、内外からの観光客の誘致

機能1 がんをはじめとする成人病に関する先端医療拠点（成人病医療ハブ）機能

高度な先端医療技術を提供する病院及び研究開発等施設
放射線治療等施設、治療・医療機器開発施設整備など

機能2 次世代医療システム産業のコアなどの医療・健康サポート関連機能

先端医療を支える関連産業等のオフィス
先端医療を支える専門職を育成する教育施設
先端医療を支えるメディカルサービス（薬局等）
宿泊滞在施設（国内外から訪れる患者・家族にも対応）
長期滞在型医療・介護サービス付き居住施設

機能3 歴史・文化・観光等の地域ポテンシャルを活かした賑わい創出機能

歴史学習施設、文化・芸術施設など
コンベンション・会議場（学会等開催）
商業施設
宿泊滞在施設（国内外から訪れる観光客に対応、観光とヘルスケアをパッケージにしたメディカルツーリズムなど）